



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省 山梨労働局

山梨労働局発表  
平成26年9月25日

## 労働災害防止に向けて緊急要請を実施！ ～山梨労働局長が経営者団体等に要請～

### 1 労働災害防止に向けて緊急要請

本日、山梨労働局（局長 三浦 宏二）は、山梨県内における休業4日以上労働災害が2年連続して大幅に増加する可能性があることを懸念し、労働災害防止団体等に対し労働災害に向けて緊急要請を行うとともに、経営者団体及び公共工事の発注機関である山梨県、市町村に対して、当該緊急要請の実施について協力要請を行う。

### 2 要請先

別紙1「緊急要請及び協力要請先名簿」のとおり

### 3 要請文書

別添1及び別添2のとおり

### 4 要請内容

経営トップの参加の下に職場の安全パトロールを実施するなど、職場内における安全衛生活動の総点検を実施すること

安全管理者等の選任義務がない事業場においても安全の担当者（安全推進者）を配置するなど、事業場の安全管理体制を充実すること

雇入れ時教育、職長に対する教育など、効果的な安全衛生教育を実施すること

**建設業については、内容が異なりますので、要請文書（写）を御確認ください。（別添2）**

### 5 山梨労働局長安全パトロール

労働災害防止に向けた緊急要請について、経営トップが職場の安全パトロールを実施し、職場内における安全衛生活動の総点検を実施する必要性を周知するための一環として、労働災害が多く発生している食料品製造業の事業場を対象として、山梨労働局長安全パトロールを実施する。

#### （山梨労働局長安全パトロール）

1 日時 平成26年9月29日（月） 9：30～

2 場所 マンズワイン株式会社 勝沼ワイナリー（詳細は別紙2のとおり）  
甲州市勝沼町山400

## 労働災害防止に向けた緊急要請

山梨県内における休業 4 日以上の労働災害の発生状況は、関係各位の御尽力により長期的には着実に減少しているところですが、平成 25 年は、前年と比べ 73 人増(増加率 10.4%)と大幅な増加に転じました。平成 26 年は、8 月末現在で 465 人と前年同期と比べ 47 人増(増加率 11.2%)となっており、2 年連続して大幅に増加することが懸念されます。また、死亡災害については、既に 7 人の労働者の尊い命が失われています。

本年の労働災害が増加している背景には、消費税の増税前の駆け込み需要や 2 月の大雪の影響のほか、4 月以降も前年同期を上回る労働災害が発生していることから、産業活動が引き続き活発になっていることがあると考えられます。また、これまで労働災害防止活動に積極的に取り組んできている製造業、建設業において労働災害が大幅に増加していることから、経済状況が好転する中、人手不足が顕在化し、事業場の安全衛生管理体制の「ほころび」が懸念されるところです。

さらに、卸売業や小売業をはじめとする第三次産業においても、労働災害の割合が拡大傾向にあります。こうした業種では重篤な労働災害が少なく、安全に対する意識が事業者、労働者ともに弱いことがその背景にあるものと考えられます。また、経験が十分でない労働者に対して効果的な安全衛生教育が実施されているかも確認が必要と考えます。

安心して働くことができる職場づくりは、人材を確保・養成し、企業活動を活性化する上でも、大きなメリットをもたらします。事業者の皆様におかれましては、上記の労働災害増加の背景と併せ、こうした点も考慮いただき、誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するために、事業場の安全衛生管理活動を今一度総点検していただくよう要請いたします。

その上で、労使の皆様をはじめ、関係者が一体となって以下の取組を徹底し、労働災害防止に努めていただきますよう、併せて要請いたします。

- 1 経営トップの参加の下に職場の安全パトロールを実施するなど、職場内における安全衛生活動の総点検を実施すること
- 2 安全管理者等の選任義務がない事業場においても安全の担当者(安全推進者)を配置するなど、事業場の安全管理体制を充実すること
- 3 雇入れ時教育、職長に対する教育など、効果的な安全衛生教育を実施すること

平成 26 年 9 月 25 日  
山梨労働局長 三浦 宏二

## 労働災害防止に向けた緊急要請

山梨県内における休業4日以上の労働災害の発生状況は、関係各位の御尽力により長期的には着実に減少しているところですが、平成25年は、前年と比べ73人増(増加率10.4%)と大幅な増加に転じました。平成26年は、8月末現在で465人と前年同期と比べ47人増(増加率11.2%)となっており、2年連続して大幅に増加することが懸念されます。また、死亡災害については、既に7人の労働者の尊い命が失われています。うち、建設業においては、休業4日以上の労働災害が78人(増加率16.4%)、死亡災害が4人となっており、憂慮すべき状況になっています。

本年の労働災害が増加している背景には、消費税の増税前の駆け込み需要や2月の大雪の影響のほか、4月以降も前年同期を上回る労働災害が発生していることから、産業活動が引き続き活発になっていることがあると考えられます。また、これまで労働災害防止活動に積極的に取り組んできている製造業、建設業において労働災害が大幅に増加していることから、経済状況が好転する中、人手不足が顕在化し、事業場の安全衛生管理体制の「ほころび」が懸念されるところです。

また、経験が十分でない労働者に対して効果的な安全衛生教育が実施されているかも確認が必要と考えます。

安心して働くことができる職場づくりは、人材を確保・養成し、企業活動を活性化する上でも、大きなメリットをもたらします。事業者の皆様におかれましては、上記の労働災害増加の背景と併せ、こうした点も考慮いただき、誰もが安心して健康に働くことができる社会を実現するために、事業場の安全衛生管理活動を今一度総点検していただくよう要請いたします。

その上で、労使の皆様をはじめ、関係者が一体となって以下の取組を徹底し、労働災害防止に努めていただきますよう、併せて要請いたします。

- 1 経営トップの参加の下に建設工事現場の安全パトロールを実施するなど、現場内における安全衛生活動の総点検を実施すること
- 2 現場の安全管理を担う職長に対し、職長教育及び再教育(建設業職長等指導力向上教育)を受講させ、職長の安全衛生に関する指導力の向上を図ること
- 3 建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育を徹底するなど、効果的な安全衛生教育を実施すること

平成26年9月26日  
山梨労働局長 三浦 宏二

## 緊急要請及び協力要請先名簿

- 1 緊急要請先（労働災害防止団体等）
  - 一般社団法人山梨県労働基準協会連合会
  - 建設業労働災害防止協会 山梨県支部長
  - 陸上貨物運送事業労働災害防止協会 山梨県支部
  - 林業・木材製造業労働災害防止協会 山梨県支部
  - 一般社団法人日本ボイラ協会 山梨支部
  - 公益社団法人ボイラ・クレーン安全協会 甲信事務所
  - 一般社団法人山梨県鉄構溶接協会
  - 公益社団法人建設荷役車両安全技術協会 山梨県支部
  
- 2 協力要請先（経営者団体）
  - 山梨県経営者協会
  - 山梨県商工会議所連合会
  - 山梨県商工会連合会
  - 山梨県中小企業団体中央会
  - 一般社団法人山梨県建設業協会
  
- 3 協力要請先（地方公共団体）
  - （県）山梨県
  - （市）甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市
  - （市町村）市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、昭和町、道志村、西桂町、忍野村、山中湖村、鳴沢村、富士河口湖町、小菅村、丹波山村

## 山梨労働局長安全パトロールについて

### 1 目的

労働災害防止に向けた緊急要請において、経営トップが職場の安全パトロールを実施し、職場内における安全衛生活動の総点検を実施することとしているが、製造業のうち、労働災害が多く発生している食料品製造業の事業場を対象として、山梨県内の労働行政機関のトップである山梨労働局長が安全パトロールを実施し、広く安全衛生管理の必要性の周知を図ることを目的とする。

### 2 実施日

平成26年9月29日(月) 午前9時30分から(集合:午前9時20分)

### 3 実施事業場

マンズワイン株式会社 勝沼ワイナリー (甲州市勝沼町山400)  
TEL 0553-44-1151

### 4 行程

- 9:20 事業場集合(事業場駐車場)
- 9:30 労働局長及び事業場代表者あいさつ
- 9:40 出席者紹介
- 9:45 事業場の概要、パトロール時の注意事項の説明
- 10:00 安全パトロール実施
- 10:45 講評、意見交換
- 11:00 終了

### 5 安全パトロール実施者

山梨労働局長、健康安全課長、甲府労働基準監督署長 ほか